FinOps Certified Practitioner 研修　受講申請のご参考

アルファス株式会社

社内承認用サマリー（Alphaus 作成）

FinOps Foundation 公式認定トレーニング

1. 背景・現在の課題

- AI ワークロードの拡大とマルチクラウド化により、クラウド費用が増加・複雑化している
- 費用を生む判断は現場で行われ、経営・財務が把握する時点ではすでに確定している
- 費用と事業価値を共通の基準で判断する仕組みが、社内に整っていない

クラウド費用を継続的に管理するには、FinOps の共通言語と基本フレームワークを社内に持つことが必要です。

2. 本研修を受講する目的

FinOps Foundation の公式カリキュラムに基づき、クラウド費用管理の標準的な枠組みを体系的に習得します。組織としての FinOps 能力を構築するための、実践的な第一歩です。

- FinOps フレームワークの全体像（Inform / Optimize / Operate）
- クラウド費用の可視化・配賦・最適化の基本的な考え方
- エンジニアリング・財務・事業部門の協働モデルと標準的な推進手順

3. 期待される効果

- クラウド費用に関する部門間の議論を、共通の前提・用語で行える
- 費用と事業価値を同じ基準で判断するための土台を社内に持てる
- 試験合格により、FinOps Foundation の FOCP 認定を取得できる

※ 研修内容に基づく一般的な効果であり、具体的な成果を保証するものではありません。

4. 研修概要・費用

研修名	FinOps Certified Practitioner 研修プログラム（FOCP-JA-001）
実施形式	企業内集合研修（対面）・日本語・2日間（計10時間）
受講費用（税別）	**¥100,000 / 名** ｜ **10名 ¥798,000**　（1名あたり ¥79,800）
含まれるもの	公式教材（12か月アクセス）、FOCP試験受験バウチャー（再受験1回含む）、Alphaus 発行の研修修了証

5. 助成金活用時の参考試算

受講料総額（10名・税別）	¥798,000
経費助成（大企業 最大60%）	− ¥478,800
賃金助成（500円 × 10h × 10名）	− ¥50,000
実質負担額（参考試算）	**¥269,200**

人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）の申請要件と必要書類を念頭に設計しています。出席記録・研修修了証等を発行します。

※ 一定の前提を置いた参考試算です。支給の可否・金額は申請企業の要件および所管労働局の審査により決定され、Alphaus が支給を保証するものではありません。助成金の適用有無にかかわらず受講いただける研修です。

6. 社内申請時の確認事項

申請者	受講規模	実施時期	助成金
氏名・部署	受講希望人数	希望受講時期	申請有無の確認

※ 本資料は社内承認のための参考資料であり、貴社所定の申請書ではありません。

出典：FinOps Foundation（finops.org）／厚生労働省「人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）」 | お問い合わせ：training-jp@alphaus.cloud